

NHK ラジオ 高校講座 現代文

2022 年度 年間放送計画表

(2022 年 2 月 9 日現在)

ラジオ第 2

月曜日・火曜日 午後 7:30 ~ 7:50

※ この番組は、前年度の再放送です。
 ※ 放送日時や内容を変更する場合があります。その際は番組ホームページでお知らせいたします。

放送日		タイトル	学習のポイント
4/ 4 (月)	入門編	1 入門編(1) 文章を楽しむ	①現代文とは ②現代文の魅力 ③声に出して読んでみる
5 (火)		2 入門編(2) 文章を読み解く	①現代文で学ぶこと ②文章の魅力・言葉の魅力 ③「現代文」の勉強のしかた
11 (月)	自己を見つめる	3 わたしはあなただったかもしれない (1) (大脇三千代)	①言葉との出会い ②仕事をするうえでの心構え ③チンパンジーたちと松沢先生
12 (火)		4 わたしはあなただったかもしれない (2)	①チンパンジーと人間の違いとは? ②絶望と希望 ③想像する力
18 (月)		5 「私」という「自分」(1) (鷲沢 萌)	①たった一人の「私」、そして「自分以外の他者」 ②バス停での奇跡—誰かのために何かをするということ ③「誰か」にとって「意味のある存在」であるということ
19 (火)		6 「私」という「自分」(2)	①世界は「自分」と「自分以外の他者」で成り立っている ②「誰かのためにになりたい」—それは自分自身のため ③自分らしく生きるために、他者を思い、他者を愛する
25 (月)	小説を読む	7 デューク (1) (江國香織)	①デュークの死と私の悲しみ ②私と少年の出会い ③少年の優しさ
26 (火)		8 デューク (2)	①悲しみからの解放 ②悲しみの再来 ③少年の告白
5/ 2 (月)	新しい発見	9 ヒトはなぜヒトになったか (1) (長谷川眞理子)	①ヒトの祖先とは ② 600 万年前にチンパンジーと系統が分かれたヒト ③なぜヒトはサバンナに進出したのか
3 (火)		10 ヒトはなぜヒトになったか (2)	①過酷な生活環境に適応したヒト ②人間の脳について ③ヒトが持つ好奇心
9 (月)	詩を味わう	11 そこにひとつの席が (黒田三郎) この世 (中江俊夫)	①詩とは何か? 詩を読み、味わうために ②「僕」の左側にある「ひとつの席」に座るべき人は? ③この地球を覆っている無数の水たちと風たちについて
10 (火)		12 永訣の朝 (宮沢賢治)	①「あめゆじゆとてちてけんじや」: 妹の思いとは? ②「Ora Orade ……」: ローマ字で表記された妹の言葉 ③詩にこめられた賢治の願い
16 (月)	言葉と生活	13 情けは人の…… (1) (俵 万智)	①「情けは人のためならず」ってどういう意味? ②言葉の話を楽しくできる人というのは、とてもすてきだ ③言葉の誤用—たった一つの言葉が人間関係を……
17 (火)		14 情けは人の…… (2)	①「情けは人のためにならない」—誤用が共感を呼ぶ ②「濡れ手で泡」[ぬかみそにクギ]「狐につつまれる」 ③言葉は文化だ—時代が変われば、文化も変わる
23 (月)		15 「マジ?」(1) (高山宗東)	①言葉をつめる ②文字通りの意味と言わんとする意味 ③言葉の奥行き
24 (火)		16 「マジ?」(2)	①「マジ」の来歴を考えよう ②全く別の「マジ」がある ③言葉に向き合うことのおもしろさ
30 (月)	小説を読む	17 相棒 (1) (内海隆一郎)	①「相棒」という言葉について—その由来は? ②物語は、原くんと木山さんとの出会いから始まる ③原くんにとっての木山さん—「あのおじさんじゃ……」
31 (火)		18 相棒 (2)	①前回の復習—原くんと木山さんの関係について ②木山さんの仕事ぶり—「そんなにまで……」 ③原くんの木山さんに対する思いが変わっていく
6/ 6 (月)		19 相棒 (3)	①前回までの復習—原くんの木山さんに対する評価 ②木山さんに関する意外な事実、そして原くんの怒り ③「わたしの相棒」—木山さんにとっての原くん
7 (火)	創作の楽しみ	20 短歌と俳句 (1) 短歌	①短歌の形式や表現方法について ②短歌を味わってみよう: 創作のためのヒント ③創作に挑戦: 短歌を作ってみよう
13 (月)		21 短歌と俳句 (2) 俳句	①俳句の形式や表現方法について ②俳句を味わってみよう: 創作のためのヒント ③創作に挑戦: 俳句を作ってみよう
14 (火)		22 短歌と俳句 (3) 創作に挑戦	①短歌を作る: 31 文字の中に世界を封じ込める! ②俳句を作る: 17 文字で一瞬を切り取れ! ③まとめ: 創作の楽しみ、創作のよろこび
20 (月)	人間と文化	23 コミュニケーションの文化 (1) (平田オリザ)	①他者との接触が少ない高校生 ②人に話しかけるのは苦手 ③話しかけるかどうかは「相手による」

21 (火)	人間と文化	24 コミュニケーションの文化 (2)	①オーストラリア、イギリス、アメリカの「話しかける」例 ②各国、各民族の文化 ③国際社会に出て行く日本の若者たち
27 (月)		25 名所絵はがきの東西 (1) (高階秀爾)	①絵はがきとは ②イタリアの絵はがき ③西欧と日本の絵はがきの特色
28 (火)		26 名所絵はがきの東西 (2)	①名所についての日本人の考え方 ②西欧と日本の「思い出」「都市作り のあり方」に対する考え方 ③観光名所絵はがきが物語るもの
7/ 4 (月)	小説を読む	27 鼻 (1) (芥川龍之介)	①芥川龍之介について ②「歴史小説」の方法 ③鼻を苦に病む二つの理由
5 (火)		28 鼻 (2)	①デリケートな「自尊心」 ②自尊心の毀損をどうやって回復するか ③「消極的」な三つの方法
11 (月)		29 鼻 (3)	①「積極的な方法」とは ②内供と弟子の掛け合い ③おっとりしたユーモア
12 (火)		30 鼻 (4)	①積極的な方法は成功したか ②意外な事実とは ③「愛すべき内供」という表現
18 (月)		31 鼻 (5)	①傍観者の利己主義 ②近代小説の主人公と古典の主人公 ③内供は悩みから解放されたか
19 (火)		32 鼻 (6)	①内供の心の変化 ②「はればれとした心持ち」とは ③「鼻」という小説の特徴
25 (月)	実用の文章	33 実用の文章 (1)	①実用の文章とは ②「注連縄」の内容をとらえる ③文章の特徴をとらえる
26 (火)		34 実用の文章 (2)	①「東京タワー」の内容をとらえる ②文章の特徴をとらえる ③文章の要約の方法と実践
夏期講座		8月1日(月)～8月27日(土)	高校講座全体から選んだ復習のための再放送などを 科目の時間枠をはなれて放送します。
8/ 29 (月)	小説を読む	35 こころ (1) (夏目漱石)	①夏目漱石と小説「こころ」の全体構造を把握する ②「先生」と「私」 の関係をとりえる ③今の「私」の状況と「家」との関係を理解する
30 (火)		36 こころ (2)	①「こころ」の中の「先生と遺書」 ②「私」と「K」の関係を把握する ③当時の価値観と今の私たちとの違い
9/ 5 (月)		37 こころ (3)	①「K」の告白の内容を確認する ②「K」の心の葛藤を読み取る ③「K」の告白を聞かされた「私」の心情を把握する
6 (火)		38 こころ (4)	①「K」の立場と心の苦悩を理解する ②「私」の「K」に対する見方の変化 ③「精神的に向上心のない者はばかだ」の意味するところ
12 (月)		39 こころ (5)	①「私」の「狼のごとき心」と「K」の「罪のない羊」 ②「覚悟ならな いこともない」の二人の意味の違い ③寝室での会話の意味をとらえる
13 (火)		40 こころ (6)	①「私」の「お嬢さん」と「K」に対する思いを理解する ②「私」の裏切りと行動 ③「お嬢さん」と「奥さん」の対応の変化
19 (月)		41 こころ (7)	①「私」がプロポーズした後の「私」と「奥さん」と「K」の日常 ②「私」の「K」 に対する思いを推測する ③「K」の遺書の内容とその理由を考える
20 (火)		42 こころ (8)	①手紙を読み終えた私の行動を確認する ②「私」のその後 ③「こころ」に表れる表現の面白さ、すばらしさ
26 (月)	世界を見つめる	43 ワスレナグサ (1) (星野道夫)	①生まれた場所から遠く離れて ②旅人から住人へ。同じ風景が違って 見えるのは ③わたしたちの知らない「ワスレナグサ」
27 (火)		44 ワスレナグサ (2)	①「本当に見る」ということ ②「もうひとつの時間」をめぐって ③読むことに誘われて
10/ 3 (月)		45 食と想像力 (1) (辺見 庸)	①筆者がタイに来てみて、はじめて知ったこと ②「猫缶反省論」など、タイ の工場側にとって迷惑なだけ ③「この汗の結晶が、あの墮落猫の口に入るのか」
4 (火)	46 食と想像力 (2)	①缶詰工場で働く、ティンという名の十六歳の女の子 ②ティンに問うたこと —なぜ「ひどい質問」なのか? ③ティンには「想像しない権利がある」とは?	
10 (月)	小説を読む	47 話を聞かせて (1) (山本文緒)	①営業部員となった「私」 ②大木屋酒店の主人 ③店主に対する「私」の思い
11 (火)		48 話を聞かせて(2)	①「彼」の人柄 ②「彼」のアドバイス ③「私」にとっての「彼」の存在
17 (月)		49 話を聞かせて(3)	①私のチャレンジと店主の変化 ②「私」の弱音と相談 ③「午後二時」には何がある

18 (火)	小説を読む	50 話を聞かせて(4)	①午後三時の店主と「私」 ②「忙しい」という言葉の裏側 ③話を聞くということ ～私の変化～
24 (月)	新しい視点	51 記憶のゆがみ (1) (高橋雅延)	①私たち人間は「意味を求める存在」であるということ ②「記憶のゆがみ」に関する実験-印象は操作できる? ③「恋は盲目か?」-男女間の「やっかいな結末」とは?
25 (火)		52 記憶のゆがみ (2)	①記憶とは、さまざまな形でゆがみを受けるものである ②私たちは、自分の記憶を作り変えてしまうことがある ③私たちの記憶とは、必ずしも正確な再現ばかりではない
31 (月)		53 鏡としての他者 (1) (榎本博明)	①私たちは、どうしても人の目を気にしてしまう ②人の目は、言ってみれば、モニターカメラのようなもの ③社会学者・クラーの言う「鏡映自己」とは何か?
11/ 1 (火)		54 鏡としての他者 (2)	①「自己とは他者である」とは、どういうことなのか? ②「自己イメージ」は、どのようにして作られるのか? ③私の自己イメージとは、他者が私に抱いていたイメージ
7 (月)	生への思索	55 僕らの時代のメディア・リテラシー (1) (森 達也)	①「メディア」とは何か ②テレビの「切り上げ」と「切り下げ」の意味 ③メディアが作る政治・民意・世界観
8 (火)		56 僕らの時代のメディア・リテラシー (2)	①市場原理の法則とメディアの関係 ②メディアと市場原理を作っているのは誰か ③私たちとメディアとのかわり
14 (月)		57 僕らの時代のメディア・リテラシー (3)	①「ステレオタイプ」という言葉の意味とメディア ②ステレオタイプが人を記号にしてしまうとは ③メディア・リテラシーの重要性和必要性
15 (火)	小説を読む	58 バグダッドの靴磨き (1) (米原万里)	①小説のスタイルについて- 12歳の少年が語る物語 ②30ドルを貯めるために、靴磨きをする12歳の少年 ③4月9日にアメリカ軍がバグダッドに入ってきた
21 (月)		59 バグダッドの靴磨き (2)	①祖母、母親、2人の妹、そして叔父さん ②少年の父親は今、どうしているの? ③少年がムニール叔父さんを嫌いな理由
22 (火)		60 バグダッドの靴磨き (3)	①あの時の祖母ちゃんの顔は今も夢によく出てくる ②あの日-アメリカ軍のミサイルに奪われた命 ③4月9日-アメリカ兵に狙撃された記念日
28 (月)		61 バグダッドの靴磨き (4)	①遺体になって戻ってきた叔父さん ②アメリカ兵の銃弾で殺された母親 ③殺すのは、占領者たち、侵略者たちだけ
29 (火)	短歌と俳句	62 折々のうた (1) (大岡 信)	①大岡信と「折々のうた」 ②新興俳句運動と無季俳句 ③詩の言葉
12/ 5 (月)		63 折々のうた (2)	①日本画とゲーテの詩 ②冷たい情熱 ③相いれないものの統一
6 (火)		64 折々のうた (3)	①牡丹の質感 ②祖国と故郷 ③作者の言語観と短歌の表記
12 (月)		65 折々のうた (4)	①戦中世代の女性歌人 ②明治期の文芸思潮 ③大岡信と批評
13 (火)	詩を味わう	66 食事 (高階紀一)	①詩の形式や言葉遣い ②気づきの重要性和転換する視点 ③比喩の効果
19 (月)		67 ころ (萩原朔太郎)	①文語自由詩の味わい ②比喩と「ころ」のつながり ③詩を声に出してみよう
20 (火)		68 日本海 (草野心平)	①詩人・草野心平について ②「日本海」の表現技法 ③詩のレトリックと「連」の意味
冬期講座 12月26日(月)～1月7日(土) <small>※12月31日～1月3日はお休みです。</small>			高校講座全体から選んだ復習のための再放送などを 科目の時間枠をはなれて放送します。
1/ 9 (月)	人間と社会	69 経験の教えについて (1) (森本哲郎)	①頭括法式の文章構造 ②イソップ物語の普遍性 ③「獅子の分け前」をどう読むか
10 (火)		70 経験の教えについて (2)	①設疑法 ②自分自身を正しく認識すること「汝自身を知れ」 ③堂々巡りの中で生きる
16 (月)		71 新しい博物学を (1) (池内 了)	①人々が科学を親しむようになった時代 ②科学の変質-マクロからミクロへ ③科学のアンビバレンスな感情とは?
17 (火)		72 新しい博物学を (2)	①科学が楽しいものでなくなった理由とは? ②今一度、科学の楽しみを取り戻すために ③総合知の学問としての「新しい博物学」
23 (月)	小説を読む	73 山椒魚 (1) (井伏鱒二)	①表現の特徴を理解する ②山椒魚の置かれている状況を読み取る ③山椒魚が跳める景色と心理を捉える
24 (火)		74 山椒魚 (2)	①めだかの群れを笑う山椒魚の心理や立場を理解する ②小えびとのかかわりと山椒魚の心情、行動を読み取る ③小えびが見た山椒魚の姿について考えてみる
30 (月)		75 山椒魚 (3)	①読者に語りかける表現に注意する ②自分自身を「ブリキの切りくず」と思う心理を理解する ③山椒魚の孤独の深さを捉える

31 (火)	小説を読む	76 山椒魚 (4)	①山椒魚の心の変質を捉える ②山椒魚と蛙の会話から、それぞれの心情を理解する ③虚構を現実に置き換えてみる
2/ 6 (月)		77 山月記 (1) (中島 敦)	①作家：中島敦と「人虎伝」 ②漢文調の文体と語彙の豊かさ ③李徴の性格と経歴
7 (火)		78 山月記 (2)	①「人虎伝」と第一場面 ②李徴と袁𠄎、二人の性格の違い ③文体の変化
13 (月)		79 山月記 (3)	①李徴が虎になった経緯 ②虎の感覚描写 ③不条理な運命について
14 (火)		80 山月記 (4)	①虎としての経験 ②「しあわせ」について ③自分の中の「虎」について考えてみよう
20 (月)		81 山月記 (5)	①李徴の詩作への執着 ②李徴の詩に対する袁𠄎の評価 ③李徴が自嘲する内容
21 (火)		82 山月記 (6)	①李徴の詩の解釈 ②詩の内容と本文との関係性 ③臆病な自尊心と尊大な羞恥心の理解
27 (月)		83 山月記 (7)	①虎になった理由の再考 ②冒険や詩の内容との対比 ③「虎」は誰にもいるものだろうか
28 (火)		84 山月記 (8)	①残っていた人間の心 ②虎となっていく李徴の心 ③一人称や月の描写に表れているレトリック
春期講座		3月6日(月)～4月1日(土) (放送予定)	高校講座全体から選んだ復習のための再放送などを 科目の時間枠をはなれて放送します。